

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人愛信芳主会	代表者	塚本主恵夫	法人・事業所の特徴	カトリック精神に基づき愛と真心を持って福祉事業に努める。「施設理念」として①笑顔を提供する ②とにかくやってみる ③残りの時間を大切に考える ④本人や家族の想いを考える ⑤プロとして学び行動する
事業所名	丘の上倶楽部	管理者	亀井裕之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

※令和2年度は感染症予防のため、運営推進会議開催はすべて書面にて実施しました。

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	①常勤はスタッフ個別評価へのコメント記入を徹底します。 ②中間点で目標の再確認と達成度の評価を取り入れる ※簡易的で良い 評価を開始する前 10月頃	①自己評価へのコメント記入は出来ていた。 ②コロナ禍により様々な活動が制限され、運営推進会議も通常の形で開催出来なかったため、中間評価は実施出来なかった。	運営推進会議開催出来なかったため、自由意見は無し	①中間点で達成度の評価を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	①会議開催場所は継続し事業所ダイルームとする。 ②外観や植え込みの手入れも継続し景観に配慮する。	①感染症対策のため、施設に集まって開催する事で出来ず、書面を確認していただく形となった。 ②植え込みや外観の手入れは外部業者に依頼して実施した。	運営推進会議開催出来なかったため、自由意見は無し	①感染症予防対策を実施し、清潔で快適な環境を提供する。
C. 事業所と地域のかかわり	①片倉地区、みなみ野地区でのイベント参加を試みる。 ②広報誌などを用意し、近隣町会などへ配布を行う。そのための町会窓口との関わりを持つ。	①感染症予防のため、外出して活動を行う事は出来なかった。 ②広報誌の作成は出来なかった。	運営推進会議開催出来なかったため、自由意見は無し	①近隣や周辺を散歩している方へも積極的に挨拶をする。 ②広報誌などを用意し、近隣町会などへ配布を行う。そのための町会窓口との関わりを持つ。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	①今まで行っていた場所へこれからも行けるよう支援を行う。 ②地域での催しなどへの参加を支援する。	①外出や様々な活動も自粛などで制限されたため、利用者が自宅外で活動する機会が無くなってしまった。 ②様々な活動は自粛により開催されなかった。	運営推進会議開催出来なかったため、自由意見は無し	①本人や家族の意向を確認し、感染症予防対策を実施しながら、地域での活動をサポートする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	①土日祝日での開催を1～2回実施する。 ②個別事例についての報告や検討を継続する。	①感染症予防にて開催出来なかった。 ②集まって話しをする機会が持たず、個別事例に関しては報告のみとなった	運営推進会議開催出来なかったため、自由意見は無し	①感染症予防対策を実施した運営推進会議を開催する。 ②本人や家族、外部からの会議参加者を増やす
F. 事業所の防災・災害対策	①BCPについての訓練を実施する。特に計画運休時の職員確保について確認を行う。 ②地域の防災訓練に車いすの操作などを取り入れてもらう	①法人全体で感染症のクラスターが発生した場合や災害を想定した対応計画を策定した。備蓄倉庫を新設した。 ②地域の防災訓練が開催されなかった。	運営推進会議開催出来なかったため、自由意見は無し	①感染症対策を考慮した防災訓練を実施する。 ②感染症発生時の事業継続について、準備を整える。